

今なぜ「健康経営」か

～“健康経営”ですすめる“働き方改革” & 健康職場づくり～

◎ プログラム

- 13:00 主催者挨拶 神奈川健康づくり推進会議 議長
(公社) 神奈川労務安全衛生協会 専務理事・事務局長 渡辺 辰
- 13:05 【基調講演1】
健康経営の定着と推進
～産業医の視点から～ 土肥 誠太郎 氏
- 14:05 【基調講演2】
経済学から見た健康経営 河野 敏鑑 氏
- 休憩 15:05～15:20
- 15:20 【企業・事業場での取組①】
富士通における“健康経営”の取組み 東 泰弘 氏
- 16:05 【企業・事業場での取組②】
今、健康経営を行う理由
～企業経営の視点から～ 浅野 健一郎 氏
- 16:50 質疑応答(10分以内)
- 17:00 終了

2018 9/28 Fri 横浜市開港記念会館

講師紹介 ◎

◎ 講演テーマ・要旨

基調講演1 どひ せいたろう
土肥 誠太郎

Seitarou Dohi

三井化学(株)本社 健康管理室長
統括産業医

健康経営の定着と推進 ～産業医の視点から～

「健康経営」は、企業と社員の両者に大きなメリットがあります。効果を生むためには、企業が仕組みを明確し、社員の参加を推進することが重要です。さらに、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチをバランスよく実行し、PDCAを回してゆくことが重要です。当社の事例をもとに具体的施策の展開を示すとともに、「健康経営」の効果についてもお話します。

基調講演2 こうの としあき
河野 敏鑑

Toshiaki Kouno

専修大学 ネットワーク情報学部 准教授
日本ヘルスサポート学会
健康経済・経営・会計部会長

経済学から見た健康経営

「働き方改革」や「SDGs (持続可能な開発目標)」などに社会の注目が集まり、また、人手不足が起きていることを背景に「健康経営」は再びブームを迎えている。ブーム自体を機会として利用することは良いだろうが、それに踊らされるようでは本末転倒であると考えられる。そこで、この講演ではブームに踊らされることなく、企業としても、また、社会としても望ましい健康経営とはどのようなものであるのかについて、主に経済学の観点から考えてみたい。

企業・事業場での取組① あずま やすひろ
東 泰弘

Yasuhiro Azuma

富士通(株) 健康推進本部
健康事業推進統括部長

「健康経営優良法人」ホワイト500認定／「富士通グループ健康宣言」を制定

富士通における“健康経営”の取組み

富士通グループは、2018年8月にグループ健康宣言を制定し、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境づくりを目指し、健康経営の取組みをスタートさせました。本講演では、生活習慣病・がん・メンタルヘルス・喫煙対策、健康意識向上施策などの富士通グループの具体的な取組みをご紹介します。

企業・事業場での取組② あさの けんいちろう
浅野 健一郎

Kenichirou Asano

(株)フジクラ 人事部
健康経営推進室 副室長 CHO補佐

「健康経営優良法人」ホワイト500認定／「健康経営銘柄2018」取得企業

今、健康経営を行う理由 ～企業経営の視点から～

昨今の世界の経済動向や日本の労働環境等の社会変化が、現在の企業経営を圧迫している。また、豊かさを求めて社会を作り上げてきた日本も「もの」から「こと」の時代へ変遷し、多くの企業がこの時代の流れに適応させることが企業存続の要となってきている。この変化は、果たして事業構造変革だけで乗り切ることができるのだろうか。これらの変化の時代の真っ只中で、企業経営の視点から、「今、健康経営を行う理由」を考察する。